

新卒者雇用対策の推進にあたって

新卒者雇用・特命チーム
内閣府参与 大久保幸夫

1. 現在の内定状況

- ・公式の内定率は未だ明らかになっていないが、大卒内定率について民間各社がこれまでに発表している数字を見ると、前年を「やや下回る」状況か（求人数では前年比 19.8%減）。
- ・主要企業の内定数では、日本経済新聞社調査で前年比 6.1%減となっている。
- ・国立大学では内定率に回復傾向がみられる一方、一部の私立大学では昨年より大幅に悪化しているところもみられる。

【2011年卒内定率状況(民間調査分)】

		(%)					
		4月	5月	6月	7月	8月	10月
(株)リクルート	2011年卒		35.3	46.8	55.8		
	2010年卒		36.9	50.9	58.8		
(株)毎日コミュニケーションズ	2011年卒	9.2	31.0	41.4	49.7	54.5	
	2010年卒		47.0	63.5	69.1	76.0	
(株)ディスコ	2011年卒	17.5	47.8	59.7	68.7		76.9
	2010年卒		49.5	62.8	69.6		77.0

※各月の内定率は調査期間に合わせています
 ※調査対象は2011年3月卒業予定の大学生および大学院生(ディスコは理系のみ)

2. 学卒未就業者の状況

- ・2010年9月の学卒未就業者は15万人(労働力調査)。学卒未就業者が2001年から2004年頃よりも少ないのは、卒業までに別の進路(専門学校進学など)を決めるようになってきていることや、卒業までに内定がとれない場合にあきらめてしまう層が多くなっていることが原因か。いかに学卒未就業状態にしてしまわないか(学生の間で最大の支援をすること)が課題である。

【学卒未就業者と内定率の関係】

	内定率(各年3月卒の値)		学卒未就業者(万人)			
	大卒	高卒	3月	4月	...	9月
2001年	91.9%	92.8%	29	24		16
2002年	92.1%	89.7%	29	26		17
2003年	92.8%	90.0%	31	30		18
2004年	93.1%	92.1%	27	26		16
2005年	93.5%	94.1%	23	25	...	13
2006年	95.3%	95.8%	20	22		15
2007年	96.3%	96.7%	18	17		12
2008年	96.9%	97.1%	14	13		11
2009年	95.7%	95.6%	16	20		15
2010年	91.8%	93.9%	21	21		15

出所:学卒未就職者:総務省統計局「労働力調査」
 大卒内定率 厚生労働省・文部科学省『大学等卒業予定者の就職内定状況調査』(4月1日現在)
 高卒内定率 厚生労働省『高校・中学新卒者の就職内定状況等』(3月末現在)

3. ミスマッチ

- ・学生の大企業志向により、求人倍率には企業規模間で差がみられるが、一連の政策効果により、学生の目が中小企業にも向きつつある。また、学生が中小企業に目を向けはじめたことにより、競争が激化している側面もある。
- ・都道府県別に求人状況に大きな差が見られる（別紙参照）。中小企業採用力強化や就業力育成事業などでは、この地域差を踏まえて対応を進めている。

4. 卒業後3年間の扱い

- ・11月中旬に雇用対策法の指針を改正し、「卒業時期等にとらわれることなく人物本位による正当な評価が行われるよう、・・・事業主は、学校等の新規卒業予定者の採用枠について、学校等の卒業者が学校等の卒業後少なくとも三年間は応募できるようにすべきもの」とする予定。現状は新卒採用枠で既卒者を募集した企業は約5割。
- ・ただし本来の趣旨通りに行われぬ可能性も懸念されている。「形式的に受け付けてすべて落としてしまう」選考が行われたり、「学生が翌年も応募できるものと考えて安易に就職を先延ばししてしまう」ことにならないよう配慮が必要である。また現役学生にとっては競争相手が増えることや、逆選択が深刻になりかねないこと、第2新卒採用（10万人程度の規模）市場との関係性などを配慮しながらルールづくりを進めていく必要がある。

5. その他—2012年卒の見込みや中長期的課題

- ・企業の採用計画を尋ねた調査（リクルートワークス研究所：速報）では、2012年卒の求人は、改善するものの、小幅にとどまる見込み。また中途採用は引き続き回復の足並みが弱い見通しであることから、引き続き雇用状況には注視が必要である。

【2012年3月卒の大学生および大学院生の新卒採用の見通し】

大幅に増える・増える	8.5% (5.5%)
変わらない	46.2% (40.1%)
大幅に減る・減る	7.1% (9.3%)
わからない	28.6% (36.6%)
以前も今後も採用しない	9.6% (8.3%)

注：()内の値は前年の値

出所：「ワークス採用見通し調査」(速報値)

- ・現在の新卒市場は「就職難」「求人難」が同居している二極化状態にある。大学の教育質の向上を図り、学生の就業力を高めるためには大学側の努力とともに産業界の協力が必要となる。

都道府県別新卒採用予定：東北の一部や四国などで「予定なし」が多い

■2011年3月卒の大学生・大学院生に対する新卒採用予定の有無

	予定あり	予定なし	未定	無回答
全国	65.0%	24.8%	7.7%	2.5%
北海道	51.6%	34.4%	9.8%	4.1%
青森県	53.8%	46.2%	-	-
岩手県	53.6%	21.4%	10.7%	14.3%
宮城県	60.0%	27.3%	9.1%	3.6%
秋田県	35.3%	52.9%	-	11.8%
山形県	57.9%	26.3%	15.8%	-
福島県	44.8%	27.6%	20.7%	6.9%
茨城県	42.9%	44.9%	10.2%	2.0%
栃木県	65.4%	23.1%	7.7%	3.8%
群馬県	68.4%	28.9%	2.6%	-
埼玉県	62.2%	26.8%	9.8%	1.2%
千葉県	55.4%	32.1%	10.7%	1.8%
東京都	68.2%	22.5%	7.5%	1.8%
神奈川県	60.9%	29.6%	7.7%	1.8%
新潟県	68.1%	20.8%	8.3%	2.8%
富山県	64.3%	21.4%	10.7%	3.6%
石川県	67.6%	26.5%	-	5.9%
福井県	90.5%	4.8%	4.8%	-
山梨県	80.0%	10.0%	-	10.0%
長野県	70.0%	18.3%	6.7%	5.0%
岐阜県	55.3%	34.0%	2.1%	8.5%
静岡県	70.8%	24.5%	3.8%	0.9%
愛知県	70.0%	19.9%	6.5%	3.6%
三重県	68.8%	12.5%	18.8%	-

	予定あり	予定なし	未定	無回答
滋賀県	68.8%	31.3%	-	-
京都府	67.9%	19.8%	11.1%	1.2%
大阪府	67.7%	22.6%	7.9%	1.8%
兵庫県	66.1%	22.3%	8.3%	3.3%
奈良県	80.0%	20.0%	-	-
和歌山県	44.4%	44.4%	-	11.1%
鳥取県	77.8%	22.2%	-	-
島根県	54.5%	18.2%	-	27.3%
岡山県	73.8%	23.8%	-	2.4%
広島県	74.0%	13.0%	13.0%	-
山口県	52.4%	28.6%	9.5%	9.5%
徳島県	31.3%	56.3%	-	12.5%
香川県	56.1%	36.6%	7.3%	-
愛媛県	50.0%	44.8%	3.4%	1.7%
高知県	25.9%	66.7%	3.7%	3.7%
福岡県	60.7%	30.0%	9.3%	-
佐賀県	50.0%	21.4%	21.4%	7.1%
長崎県	42.9%	28.6%	28.6%	-
熊本県	65.2%	17.4%	17.4%	-
大分県	54.5%	27.3%	13.6%	4.5%
宮崎県	46.7%	33.3%	13.3%	6.7%
鹿児島県	56.5%	21.7%	4.3%	17.4%
沖縄県	33.3%	55.6%	-	11.1%

(網掛・白字) 全国平均より5ポイント以上高いことを表す

 (網掛・黒字) 全国平均より5ポイント以上低いことを表す

 (斜体字) 調査サンプル数が少ない県を示す(参考値)

出所:「ワークス大卒求人倍率調査2010」より特別集計